



気象研究ノート第 229 号  
「高層気象観測の発展と現状」  
発刊のお知らせ

気象研究ノート編集委員会

地球を取り巻く空気層、これが大気である。地上気象観測で観測される大気よりも上空の大気は、地球を取り巻く空気層のほとんど全部を占める。この気象研究ノート「高層気象観測の発展と現状」は、このような上空の大気の観測（高層気象観測）に関する内容である。

気象研究ノート第 194 号「気象測器—高層気象観測篇」が 1999 年 4 月に発行されてから、既に約 14 年が経過した。この間、第 194 号で報告された「業務用ゾンデ：RS-91 型レーウィンゾンデ」が、2010 年 3 月までに RS92-SGP 型 GPS ゾンデへ移行した。また、「光を用いた能動型測器：ライダー」についても、空港気象ドップラーライダーが 2007 年 4 月に東京国際空港（羽田空港）に設置され運用を開始している。このような気象業務における観測方法の変遷に対応し、ラジオゾンデとライダーを中心に報告することが、今回の気象研究ノート「高層気象観測の発展と現状」の目的である。

【目次】

第 1 章 高層気象観測の意義と歴史	水野 量
第 2 章 ラジオゾンデ観測	
2.1 ラジオゾンデ相互比較観測	
2.1.1 ラジオゾンデ相互比較観測の意義	能登美之
2.1.2 RS-91 型レーウィンゾンデと RS92-SGPJ 型 GPS ゾンデの比較観測と検証結果	古林絵里子
2.2 オゾンゾンデ	宮内誠司・安達正樹
2.3 ゴム気球搭載用水蒸気計	杉立卓治・藤原正智
2.4 ラジオゾンデ観測における諸問題	脇野定則・松本 元・片野信行
第 3 章 ドップラーライダー観測	
3.1 ドップラーライダーの概要と種類	水谷耕平・石井昌憲
3.2 高層気象台のドップラーライダーで観測された下層風の事例	森 一正
3.3 北大低温研のドップラーライダーで観測された大気現象の解析事例	藤吉康志・藤原忠誠
第 4 章 水蒸気ラマンライダー	酒井 哲・永井智広
第 5 章 オゾンライダー	中里真久・永井智広・酒井 哲・内野 修
第 6 章 高層気象観測から得られた高層の大気の構造と特性	岡林俊雄
第 7 章 気象衛星画像による上空の大気の解析	鈴木和史
【編集】	水野 量・上窪哲郎・定村 努

第 229 号 B5 判 192 ページ 2014 年 2 月 10 日発行【価格】会員：2,700 円、会員外：4,000 円